

令和8年度

北海道大学法科大学院
(北海道大学大学院法学研究科法律実務専攻)

法曹養成プログラム 開放型特別選抜
【前期日程・後期日程】

学 生 募 集 要 項

目 次

令和8年度北海道大学大学院法学研究科法律実務専攻（法科大学院）学生募集要項 法曹養成プログラム 開放型特別選抜【前期日程・後期日程】	1
---	---

<出願に関する問い合わせ先・出願書類提出先>

住所：〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目
北海道大学法学研究科・法学部 学事担当
電話：011-706-3964
E-mail：gakuji@juris.hokudai.ac.jp

<インターネット出願に関する問い合わせ先>

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター（運用会社：株式会社キャリアタス）
電話：0120-202079（受付時間：月～金 10:00～18:00）
E-mail：cvs-web@career-tasu.co.jp

令和8年度北海道大学大学院法学研究科法律実務専攻（法科大学院）学生募集要項
法曹養成プログラム 開放型特別選抜
【前期日程・後期日程】

令和8年度北海道大学大学院法学研究科（以下「本研究科」という。）法律実務専攻（法科大学院）法曹養成プログラム開放型特別選抜の入学選考試験を、下記により実施する。

1. 募集人員

8名（前期日程及び後期日程の両試験日程でそれぞれ4名程度入学者を募集する）

2. 出願資格

以下のすべての要件を満たす者

- （1）令和8年3月に大学を卒業見込みであること。
- （2）連携又は非連携の法曹養成プログラム（注1）に登録している学生であること。
- （3）受験までに法曹養成プログラムで開講される以下の科目の所定の単位を取得していること。（注2）

憲法：4単位以上

民法：8単位以上

商法：4単位以上

刑法：4単位以上

刑事訴訟法：4単位以上 又は 民事訴訟法：4単位以上

（注1）文部科学省より、法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律第6条第2項に基づき締結した大学間協定の認定を受けたプログラム又はコースであること。（文部科学大臣認定を受けた法曹養成連携協定一覧は下記 URL に掲載）

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/houka/1422481_00007.htm

（注2）各科目のシラバス（授業概要）のコピーを出願時に提出すること。

3. 出願期間

【前期日程】

・インターネットでの出願登録：令和7年9月16日（火）午前10時00分から9月19日（金）午後4時59分まで

・出願書類の提出：令和7年9月24日（水）まで【必着】

※必ず郵送とすること。

（9月25日以降に到着した場合、9月22日以前の消印の出願書類のみ受理する。）

【後期日程】

・インターネットでの出願登録：令和7年12月12日（金）午前10時00分から12月17日（水）午後4時59分まで

・出願書類の提出：令和7年12月19日（金）まで【必着】

※必ず郵送とすること。

（12月22日以降に到着した場合、12月18日以前の消印の出願書類のみ受理する。）

出願手続きは、「①インターネットでの出願登録」、「②検定料の支払い」、「③出願書類の全てを出願期間内に提出」により行うこと（詳細は9頁「インターネット出願登録について」を参照）。**インターネットで出願登録を行っただけでは出願手続き完了とならないので、注意すること。**

※一般選抜と併願する場合で、一般選抜を「飛び級」による出願資格で出願する場合には、事前の出願資格審査を要するため、一般選抜の出願資格審査申請期間に留意すること。

4. 出願手続き

出願希望者は、次の書類を取揃え、必ず「速達」の書留扱いとして下記住所へ郵送すること。直接持参しても受理しない。なお、封筒表面に「法科大学院開放型特別選抜（前期日程又は後期日程）入学願書在中」と朱書きすること。

（郵送先）〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目 北海道大学法学研究科・法学部 学事担当

(1) 入学願書・履歴書	インターネット出願サイトにて、必要事項の入力後に作成される入学願書・履歴書をA4版で印刷のうえ、提出すること。
(2) 写真3葉	出願前3か月以内に撮影したもので、上半身、正面、脱帽像のものを、入学願書、受験票、写真票の所定箇所に貼付すること。
(3) 成績証明書	在籍又は出身大学（学部・研究科等）長作成のもの。複数の大学・大学院に在籍した場合は、すべて提出すること（現在在籍している大学・大学院を含む）。成績証明書にはGPAの記載があること。
(4) シラバス	在籍大学の法曹養成プログラムで修得した所定科目のシラバス（授業概要）のコピーを提出すること（北海道大学法学部在籍者は提出不要）。
(5) 志望理由書	「法曹を志望する理由」及び「自分が目指す法曹像」をA4版横書き1,000字程度で作成すること。様式は任意。パソコン等による作成可。 <u>必ず氏名を記入すること。</u> 複数ページや添付書類がある場合は、下にページ数を付すこと。ホッチキス留めは不要。
(6) 能力証明資料等 ※写しによる提出を認める。	自己の能力を証明するものとして、次のような書類を提出することができる。 学位、司法試験及び司法試験予備試験の択一試験・論文試験の成績、日弁連法務研究財団及び商事法務研究会が主催した法学検定試験、語学検定試験（TOEFLやTOEIC等）の成績、国家資格・各種試験等
(7) 法曹養成プログラム 所属証明書 修了見込証明書	在籍大学（学部）長作成のもの。 所属大学内での順位がわかる資料を添付すること。 （北海道大学法学部在籍者は提出不要）
(8) 卒業見込証明書	在籍大学（学部）長作成のもの。 （北海道大学法学部在籍者は提出不要）
(9) 受験票・写真票	インターネット出願サイトにて、入学願書と一緒に印刷される受験票・写真票により提出すること。
(10) 返信用封筒1通	第1次選抜選考結果通知及び第1次選抜合格者受験票送付用。 定形封筒【長形3号（12 cm×23.5 cm）】に宛先を明記し、410 円分の切手を貼付したもの。
(11) 返信用封筒各1通	第2次選抜選考結果通知送付用。 定形封筒【長形3号（12 cm×23.5 cm）】に宛先を明記したものと、定形外封筒【角形2号（24 cm×33.2 cm）】に宛先を明記したものを各1通ずつ提出すること。切手の貼付は不要。
(12) 検定料	30,500円（※事務手数料500円を含む） （前期日程と後期日程の両方に出願する場合は、検定料の納付は試験日程毎に必要となる。） 9頁「インターネット出願登録について」を参照し、検定料の支払い手続きを行うこと。

5. 選考方法

(1) 概要

- ① 書面審査（入学願書・履歴書、成績証明書、志望理由書、能力証明資料等、法曹養成プログラム所属証明書等の書類を総合的に評価する）により選抜を行う（第1次選抜）。
- ② 第1次選抜合格者について、以下の方法により最終合格者を決定する（第2次選抜）。
法律科目試験（憲法、民法、商法（商行為・海商・保険法を除く）、刑法、民事訴訟法又は刑事訴訟法の1科目：合計5科目）を課し、書面審査及び法律科目試験の結果により合格者を決定する。

(2) 配点

書面審査	: 計 3 2 0 点
法律科目試験	: 計 3 2 0 点
合 計	: 計 6 4 0 点

6. 試験

【前期日程】

(1) 第1次選抜

第1次選抜は、提出書類の審査によって行う。

第1次選抜の結果は、令和7年10月10日（金）以降、受験者あて郵送により通知する。なお、北海道大学法科大学院のホームページ上には掲示しないので、注意すること。

合格者には、同時に第2次選抜試験の受験票を送付する。電話による可否の問い合わせには応じない。ただし、10月17日（金）以降においても郵送による通知が届かない場合に限り、問い合わせに応じる。

(2) 第2次選抜における筆記試験

第1次選抜合格者に対し、令和7年10月25日（土）及び10月26日（日）に法律科目試験を行う（7頁の別表1「試験日程表」及び別表2「法律科目試験科目表」のとおり）。

【後期日程】

(1) 第1次選抜

第1次選抜は、提出書類の審査によって行う。

第1次選抜の結果は、令和8年1月16日（金）以降、受験者あて郵送により通知する。なお、北海道大学法科大学院のホームページ上には掲示しないので、注意すること。

合格者には、同時に第2次選抜試験の受験票を送付する。電話による可否の問い合わせには応じない。ただし、1月23日（金）以降においても郵送による通知が届かない場合に限り、問い合わせに応じる。

(2) 第2次選抜における筆記試験

第1次選抜合格者に対し、令和8年1月31日（土）及び2月1日（日）に法律科目試験を行う（7頁の別表1「試験日程表」及び別表2「法律科目試験科目表」のとおり）。

7. 試験場

札幌試験場のみ（前期日程及び後期日程） ※東京試験場は実施しない

札幌市北区北9条西7丁目 北海道大学法学研究科・法学部

8. 最終合格者の発表

【前期日程】

令和7年11月14日（金） 午前10時00分

北海道大学法学研究科・法学部事務室前及び北海道大学法科大学院ホームページ上（アドレス <https://www.juris.hokudai.ac.jp/lis/>）に最終合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者には郵送により通知する。電話による可否の問い合わせには応じない。ただし、11月21日（金）以降においても郵送による通知が届かない場合に限り、問い合わせに応じる。

【後期日程】

令和8年2月20日（金） 午前10時00分

北海道大学法学研究科・法学部事務室前及び北海道大学法科大学院ホームページ上（アドレス <https://www.juris.hokudai.ac.jp/lis/>）に最終合格者の受験番号を掲示するとともに、受験者には郵送により通知する。電話による可否の問い合わせには応じない。ただし、2月27日（金）以降においても郵送による通知が届かない場合に限り、問い合わせに応じる。

9. 入学手続き

【前期日程】

令和8年1月5日（月）から1月7日（水）（予定）

【後期日程】

令和8年3月2日（月）から3月3日（火）（予定）

入学手続きの詳細については、最終合格者に別途通知する。

10. 入学条件

入学者選考試験に合格した後に、以下の条件を満たさないことが確定した場合、入学を取り消す。

- (1) 令和8年3月に大学を卒業すること。
 - (2) 連携または非連携の法曹養成プログラムを修了していること。
 - (3) 在籍大学において、法曹養成プログラム修了時の成績が以下の基準であること。
 - ① 北海道大学法学部生は、専門科目のGPAが3.0以上であること（GPAは同大学の算出基準による）。
 - ② 北海学園大学法学部生は、履修したすべての科目（卒業要件に算入されない科目を除く）について算出したGPAが3.3以上であること（GPAは同大学の算出基準による）。
 - ③ 非連携の法曹養成プログラム所属の他大学在籍生は、北海道大学のGPA基準に照らし、専門科目の成績がGPA3.0相当以上であること。
 - (4) 法曹養成プログラム修了時に、法曹養成プログラムで開講される以下の科目の所定の範囲及び単位を取得していること。
 - ・憲法（人権・統治）：6単位以上
 - ・行政法（行政法総論・行政作用法・行政救済法）：8単位以上
 - ・民法（民法総則・物権法・債権法総論・債権法各論・家族法）：16単位以上
 - ・商法（会社法・商法総則・手形法小切手法。商行為・海商・保険法は除く）：8単位以上
 - ・民事訴訟法（民事訴訟手続〔判決手続〕。倒産・執行法は除く）：4単位以上
 - ・刑法（総論・各論）：8単位以上
 - ・刑事訴訟法（刑事手続）：4単位以上
 - ・上記7科目に関係する演習：2単位以上
 - 合計：56単位以上
- ※科目の授業内容がわかるシラバス（授業概要）のコピーを提出すること。
（北海道大学法学部在籍者は提出不要）

11. 入学時に必要な経費

学生納付金については最終合格者に別途通知するが、令和8年度入学者の授業料等の額は、以下のとおりである。

- (1) 入学料 282,000円（予定額）
- (2) 授業料の年額 804,000円（予定額）

※ 上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用される。

なお、経済状況及び学業成績に基づく通常の入学料・授業料免除のほか、入学者選考試験の成績のみに基づく入学料・授業料（初年度分）の免除（成績優秀者特別免除制度：1名）も実施する。

12. 学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険への加入について

入学者は、在学中に起こした事故に備えるため、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険に必ず加入することとする。詳細については、合格通知と合わせて通知する。

13. その他

- (1) 出願手続き後は、書類の変更を認めない。なお、受理した出願書類は一切返還しない。
- (2) 身体に障害のある者で受験に際し配慮を必要とする場合は、前期日程については令和7年8月20日（水）までに、後期日程については令和7年11月17日（月）までに申し出る。配慮内容については、個別に相談の上決定する。なお、受験上の一般的な配慮例等については、本学ホームページ（<https://www.hokudai.ac.jp/pr/johokokai/pub/gakkyoho/>）にて公表予定。
- (3) 検定料の取り扱いについて
 - 出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても払込み済みの検定料は返還しない。
 - ア 検定料の返還ができる場合
 - ① 検定料を払い込んだが本研究科法律実務専攻（法科大学院）の出願書類等を提出しなかった場合、又は何らかの理由により出願書類が受理されなかった場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - イ 返還請求の方法
 - 以下の担当連絡先までE-mailにて請求すること。
 - 【件名】検定料返還請求（法科大学院入試 開放型特別選抜）
 - 【本文】①氏名 ②支払日 ③試験日程（前期日程／後期日程）
 - 本学にて入金確認後、返還にかかる手続きについてE-mailにて連絡する。なお、払い戻しには相当の日数がかかるため、あらかじめご了承ください。
 - 【担当連絡先】〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目
北海道大学法学研究科・法学部会計担当
E-mail : kaikei@juris.hokudai.ac.jp 電話 : 011-706-3122／3123
- (4) 令和8年度本研究科法律実務専攻（法科大学院）の入学者選考試験に関するより詳しい説明は、北海道大学法科大学院のホームページ（アドレス <https://www.juris.hokudai.ac.jp/lis/>）を参照のこと。
 - なお、入学者選考試験に関する追加的な説明が必要になる場合、北海道大学法科大学院のホームページに掲載することがあるので、注意すること。

(5) 個人情報の取扱いについて

ア 本学が保持する個人情報は、「独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。

イ 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜、②合格発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

ウ 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、合格者のみ入学後の ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

エ ウの個人情報のうち、合格者のものについては、氏名、住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である ①北海道大学体育会、②北海道大学法学部同窓会からの連絡を行うために利用する場合があります。

14. 法科大学院の入試における学生受入方針（アドミッション・ポリシー）

北海道大学法科大学院は、これからの社会にふさわしい高度な専門性と幅広い視野、さらに人権感覚と倫理性を身につけた法曹の養成を教育理念とする。そのため、入試制度においては、①基礎的な教養と社会に対する広い関心、②分析力、思考力及び表現力など、法律家としての適性、③継続的な教育に耐えうる知的素養・忍耐力を備えた人材を選抜する。また、選抜に当たっては、公平性・多様性・開放性・客観性・透明性を確保するための措置を講じる。

選抜は、書面審査（入学願書、成績証明書、志望理由書、能力証明資料等の書類を総合的に評価する）により第1次選抜を行い、その合格者について次の（1）及び（2）の方法により最終合格者を決定する第2次選抜を行う方法による。

（1） 3年課程への入学を志願する者には小論文試験を課し、書面審査及び小論文試験の結果により最終合格者を決定する。

（2） 2年課程への入学を志願する者には法律科目試験を課し、書面審査及び法律科目試験の結果により最終合格者を決定する。また、2年課程において法曹養成プログラム所属学生向けの特別選抜を実施する。特別選抜では、書面審査及び面接試験の結果により最終合格者を決定する選抜（5年一貫型）及び書面審査及び法律科目試験の結果により最終合格者を決定する選抜（開放型）の2種を実施する。ただし、5年一貫型選抜では第1次選抜を実施しない。

各審査及び試験は、志願者が次のような能力や資質等を有しているかどうかを判定することを目的とする。

① 書面審査

幅広い視野を有しているか、法科大学院での教育に耐えうる知的素養および忍耐力を有しているか、高い学修意欲を有しているか、法曹にふさわしい豊かな人間性、目指す法曹となりうる資質

② 小論文試験

文章を正確に理解する力、内容を分析し、要約する力、文章の内容を踏まえて論理的に思考する力、要約した内容、思考した内容を適切に表現する力

③ 法律科目試験

文章を正確に理解する力、内容を分析する力、法的問題に取り組む論理的思考力、思考した内容を適切に表現する力、法律基本科目についての発展的な学習に対応することのできる基礎的知識と理解

④ 面接試験

法的問題に取り組む分析力、論理的思考力、思考した内容を適切に表現する力

別表１－１「試験日程表：開放型特別選抜専願者」

※一般選抜との併願者は試験時間割が異なるので、留意すること。

試験日	時間	試験科目		備考
【前期日程】 令和７年１０月２５日（土） 【後期日程】 令和８年１月３１日（土）	14:00～16:40	法律 科目 試験	憲法・刑法	
【前期日程】 令和７年１０月２６日（日） 【後期日程】 令和８年２月１日（日）	10:00～12:00		民法・商法	
	13:30～14:10		民事訴訟法又は 刑事訴訟法	

※ 民事訴訟法・刑事訴訟法の選択は出願時に行う。

※ 試験時間割は、前期日程・後期日程共通。「憲法・刑法」及び「民法・商法」の試験については、試験開始時刻の３０分前までに試験室に入ること。「民事訴訟法又は刑事訴訟法」の試験については、試験開始時刻の２０分前までに試験室に入ること。

別表１－２「試験日程表：一般選抜との併願者」

試験日	時間	試験科目		備考
【前期日程】 令和７年１０月２５日（土） 【後期日程】 令和８年１月３１日（土）	14:00～16:40	法律 科目 試験	憲法・刑法	試験科目は一般選抜の試験科目（開放型特別選抜の試験科目として選択していない科目）を含む
【前期日程】 令和７年１０月２６日（日） 【後期日程】 令和８年２月１日（日）	10:00～12:00		民法・商法	
	13:30～15:00		民事訴訟法・刑事訴訟法	
	15:45～16:25		行政法	一般選抜の試験科目

※ 開放型特別選抜の試験科目としての民事訴訟法・刑事訴訟法の選択は出願時に行う。

※ 試験時間割は、前期日程・後期日程共通。「憲法・刑法」及び「民法・商法」の試験については、試験開始時刻の３０分前までに試験室に入ること。それ以外の試験については、試験開始時刻の２０分前までに試験室に入ること。

※ 民事訴訟法と刑事訴訟法の試験時間には、問題冊子・解答用紙收受の時間を含む。

別表２「法律科目試験科目表」

試験科目名（配点）	備考
憲法（８０点）	
民法（８０点）	家族法を含む。
刑法（８０点）	
民事訴訟法（４０点）	倒産・執行法を除く。
刑事訴訟法（４０点）	
商法（４０点）	商行為・海商・保険法を除く。

※ 試験当日の現行法に基づく出題を行う。

法律科目試験については、下記の六法のうち1冊（ただし書き込み等のないものに限る）の持ち込みを認める。試験に持ち込む六法は最新版のものが望ましい。

- 六法全書（有斐閣）、ポケット六法（有斐閣）、デイリー六法（三省堂）のみとする。なお、上記以外の六法の使用は認められないので、注意すること。また、六法を貸与することはしないので、各自用意すること。
- 六法に文字、記号、矢印、傍線、マーカーによる着色などがある場合、すべて原則として書き込みがあるものとみなす。
- 試験開始前又は試験中の監督員による六法チェックの際に、持ち込みの許されない六法が発見された場合は、不正行為となるので注意すること。

インターネット出願登録について

1. インターネットの出願登録にあたっては、①プリンター（必要書類出力用）、②メールアドレス（検定料支払い完了メール受信用。携帯電話は不可）を必ず用意すること。**インターネットで出願登録を行っただけでは、出願手続き完了とならない。**インターネットによる出願登録が困難な場合は、申し出ること。

2. 出願方法

（1）北海道大学のインターネット出願サイト(<https://e-apply.jp/e/hokudai-juris/>) にアクセスすること。事前に操作手順や注意事項を必ず確認すること。

（2）画面のガイダンスに従い必要事項を選択、入力すること。

（3）必要事項の入力が正常に完了すると、登録されたメールアドレス宛てに「申込完了メール」が届く。

3. 支払い方法の選択、入学検定料等の支払い

（1）インターネット出願後に表示される支払手続き画面に従い、次の①～③のいずれかの方法により支払うこと。

① クレジットカードによる支払い

「カード番号」、「有効期限」、「カード名義」、「セキュリティコード」を入力すること。

② Pay-easy（銀行 ATM、ゆうちょ銀行 ATM、ネットバンキング）、コンビニエンスストア、PayPay 銀行、楽天銀行による支払い

【Pay-easy の場合】

支払機関選択後に発行される「収納機関番号」、「お客様番号」、「確認番号」を必ずメモし、Pay-easy 対応 ATM で支払うこと。

【コンビニエンスストアの場合】

支払機関選択後に発行される「お客様番号」、「確認番号」又は「オンライン決済番号」を必ずメモし、コンビニエンスストアで支払うこと。ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、スリーエフ、デイリーヤマザキ、セイコーマートにて利用可能。

【PayPay 銀行、楽天銀行の場合】

画面の説明に従い支払うこと。

③ 中国銀聯網決済(China Pay)による支払い

各銀行の支払い画面にて、「銀行口座番号」、「有効期限」、「パスワード」などの支払い情報を入力し支払うこと。

（2）支払機関により支払に必要な情報や方法が異なるので、画面の説明を必ず確認すること。

※出願時に海外に在住する者で、クレジットカード又は中国銀聯網カードによる支払いができない者は、日本国内にいる者に依頼して、（1）①又は②のいずれかの方法より支払うこと。

（3）支払い後に受け取るお客様控え又は支払完了通知メールを印刷したものは、本人の控えとして大切に保管すること（大学への提出は不要）。

4. 出願書類の郵送

（1）**インターネット出願登録後に作成される入学願書及びその他出願に必要な書類を封筒に入れ、入学願書と一緒に印刷される宛名ラベルを封筒に貼り、必ず速達・書留扱いにして、出願期間内に郵送すること。**

（2）**全ての書類が本学に到着した時点をもって出願手続き完了となる。インターネットで出願登録を行っただけでは、出願手続き完了とならない。**出願期間後に到着した出願書類は受理しないので、郵便事情等を考慮して余裕をもって郵送すること。

<参考：入試日程>

令和7年 9月16日（火）午前10時00分 ～9月19日（金）午後04時59分	【前期日程】インターネット出願登録期間
令和7年 9月24日（水）	【前期日程】出願書類の提出期限
令和7年10月10日（金）以降	【前期日程】第1次選抜結果通知
令和7年10月25日（土）～10月26日（日）	【前期日程】第2次選抜試験（法律科目試験）
令和7年11月14日（金）午前10時00分	【前期日程】最終合格者発表
令和8年 1月 5日（月）～1月7日（水）（予定）	【前期日程】合格者入学手続き期間
令和7年12月12日（金）午前10時00分 ～12月17日（水）午後04時59分	【後期日程】インターネット出願登録期間
令和7年12月19日（金）	【後期日程】出願書類の提出期限
令和8年 1月16日（金）以降	【後期日程】第1次選抜結果通知
令和8年 1月31日（土）～2月1日（日）	【後期日程】第2次選抜試験（法律科目試験）
令和8年 2月20日（金）午前10時00分	【後期日程】最終合格者発表
令和8年 3月 2日（月）～3月3日（火）（予定）	【後期日程】合格者入学手続き期間